

事業番号3：国立公園満喫プロジェクト推進事業

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

【事業の課題・問題点等】

《事業の目的、実施方法について》

- 政府全体の「観光先進国」をめざす政策の一環として、他省庁の政策とのデマケや、全体としての一貫性に留意すべき。
- コロナ禍で本事業の前提が大きく変わってしまっているため、訪日外国人のみに力点を置いても短期的には成果が得にくく、国内でもすべての国立公園の魅力が十分に伝わっているわけではない。
- 流動的なコロナウイルス感染の収束時期に合わせて事業内容や計画を柔軟に見直す必要がある。

《受益者負担について》

- 受益者が、観光業者と観光客に限られるにもかかわらず、公的資金が投入されていることを正当化するのは難しいのでは。
- 国立公園の自然保護という目的であれば公益性があるが、利用促進、特に訪日観光客の利用ということであれば、受益者負担を本則とすべきではないか。
- 本事業によって、国立公園訪問者や地元の観光業者にはメリットがあるが、国立公園を訪れない日本人にとってはどのようなメリットがあるのかわからない。

【改善の手法や事業見直しの方向性】

《事業の目的、実施方法について》

- 中期計画を立て、計画実施による政策目的への寄与度を評価・総括し、出口戦略を含めて検討することが必要では。
- 生物多様性条約締約国会議等で、新たなグローバル・フレームワークが検討されており、国立公園の利用促進だけでなく、急速に劣化する生態系の回復に向けた観点からも事業内容を見直すべき。
- 林野庁・国土交通省・観光庁等との間での縦割りを廃し、国立公園の自然環境保護と客数増大の両立が求められる。
- リピーターの口コミは国内外の観光客を呼び込む最も有望な手段になるため、国内外ともリピーターを呼び込めるような施策が重要では。
- 新型コロナの影響を踏まえて、中長期を見据えた取組内容の大幅な見直しが必要になるとともに、その際は過去の予算額を所与とせず、取組内容に応じた予算額とすべき。
- 国立公園の魅力の発信不足や利用者目線での整備が進んでいないため、国だけでなく民間とタイアップして進めるべき。

《受益者負担について》

- できる限りの有料化を図り、トイレその他の設備の更新をして提供サービスの品質を上げてはどうか。
- 旅行ガイド、ツアーなどの売上から一定の割合を受け取るようにしてはどうか。
- 利用と保全につながる仕組みづくりのため、民間活力の利用やトイレ清掃、登山道の維持・補修費用等について、多様な利用者負担の仕組みづくりが必要。

評価結果

事業内容の一部改善

(事業全体の抜本的な改善：2人、事業内容の一部改善：4人)

とりまとめコメント

- ・ コロナ禍の対応を見直し、中期的に各省連携して取り組むべき。
- ・ 受益者負担を増やすべき。